

平成15年度 施策評価表

○総合計画における位置付け等

平成15年6月10日記入

基本目標	Ⅱ ▼ ゆとりある みどり豊かな環境共生都市をめざして	施策コード	22410
政策名 (章)	第2章 水やみどりの保全と創造に努めます	評価担当課	環境保全部 ▼
基本施策名 (節名)	第4節 魅力ある公園づくり		公園課
施策名	みどりの核となる公園の整備	課長名	小林邦雄

1 施策の概要・目的

自由時間の増大やライフスタイルの変化に伴い、市民の余暇活動はますます多様化、高度化していく傾向にあり、特に家族での憩いや自然とのふれあい、健康への関心が高まっている。
このため、みどりとふれあいや休養・散策の場となる個性的で魅力ある公園の整備を進める。

2 施策の現状

相模原麻溝公園は、平成16年度の競技場整備着手に向けた取り組みを進めている。相模原北公園及び横山公園は、整備を完了した。(仮称)大野中地区公園については、平成14年度に基本設計を行った。峰山霊園については、市民の墓地需要に応えるために、平成33年までに総合計で約9,800基の供給をめざす改定基本構想を策定した。総合公園、地区公園、峰山霊園等については、都市整備公社又はみどりの協会に管理を委託している。

3 総事業費及び人員

(1) 施策に要している総事業費

682,395 千円……構成事務事業全体の事業費合計(人件費含む)

(2) 市民1人当りの事業費

1,108 円/人……人口は、**61.6** 万人とした。(平成15年4月1日現在人口)

(3) 全施策中の順位(事業費)

この施策の市民一人当たり事業費は、全123施策のうち、第 **43** 番目です。

(4) 施策に要している人員

3.06 人……構成事務事業全体の人員合計

4 評価指標

指標	指標名および指標式	指標の意図	現状値と目標値			目標
			現状	目標	達成度	目標年度
指標1	総合公園・運動公園の整備面積 (前期実施計画期間中)	計画面積に対する達成度合を示す。	3 ha 単位	0 50 100	60.0%	目標年度 H14
			5 ha 単位			達成度
指標2	相模原麻溝公園利用者一人当たりの管理経費の適正度 近隣自治体の類似施設の一人当たり入場料(1ha)/当該公園利用者一人当たり維持管理費(1ha)	総合公園の維持管理費の適正度を示す。	282 % 単位	0 50 100	282.0%	目標年度 毎年度
			100 % 単位			達成度
指標3	峰山霊園の墓所供用数 (前期実施計画期間中)	計画区画数に対する供給状況を示す。	973 区画 単位	0 50 100	124.4%	目標年度 H14
			782 区画 単位			達成度

5 必要性…市民ニーズに合っているか、行政需要の変化に対応しているか

市政に関する世論調査において、「公園・緑地対策」は、常に、「市に望む優先施策」の上位に位置しており、市民ニーズは高い。市の人口が緩やかながら増加を続ける中、一人当たりの公園面積は県下及び全国平均に比べ低い状況にあり、公園の整備を一層推進する必要がある。また、墓地の経営主体は、経営の永続性、非営利性の確保のため、原則として地方公共団体とされており、墓地需要がますます高まると見込まれる中で、市の役割として、霊園の整備を推進する必要がある。

6 有効性…期待される効果があがっているか

施設整備及び花やみどりに親しむイベントの開催により、市民生活にレクリエーションや自然とのふれあいの場を提供しており、みどり豊かな、うるおいある生活空間の創出に効果を挙げている。

7 効率性…費用対効果が優れているか、もっと大きな効果が得られるものはないか

歳出面では、適正な用地価格の決定、整備内容の工夫、管理費の抑制等により、また歳入面では、補助金の積極的な導入等により、事業の効率的な執行を行っており、公園の利用者数も増加している。

霊園については、使用料・管理料の受益者負担により、墓域部分の整備・管理を行っているが、より効率的な墓地供給を行うため、1区画の面積縮小などの方策を決定したところである。

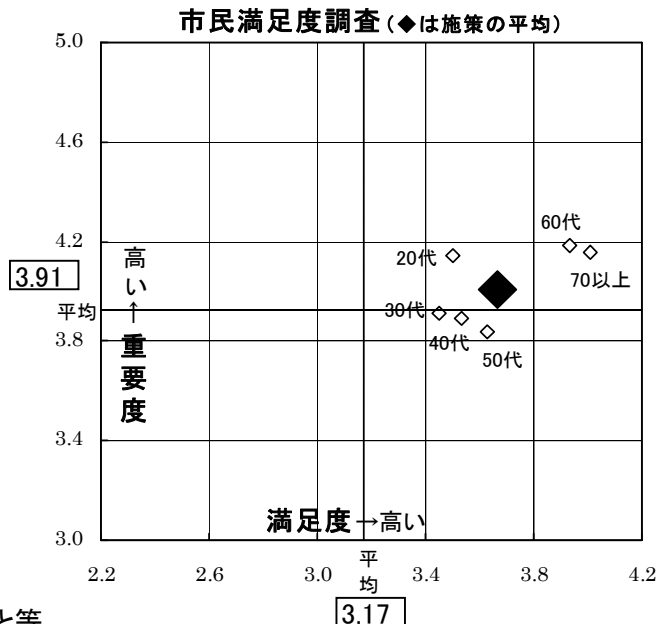
8 市民満足度調査結果からの分析(平成15年度調査)

◆この施策の満足度は、3.666で、調査した51施策の中で1番目です。

◆この施策の重要度は、4.004で、調査した51施策の中で24番目です。

◆この施策の改善要望度は、0.239で、調査した51施策の中で44番目です。

◇年齢別にみると、満足度は60歳以上で高くなっています。重要度は60歳以上及び20歳代が高く、30歳代～50歳代では低くなっています。



市民満足度調査は、基本施策51項目(節)について調査しています。したがって、上位の基本施策が同じ場合は同じ内容となっています。(「〇総合計画における位置付け等」参照)

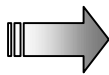
9 課題…施策を実現するにあたり、課題となっていること等

公園用地の確保には多額の費用を要するが、市の財政状況の厳しさから、土地開発公社により先行取得された用地を早期に購入(買戻し)することが難しくなっている。このため、公園の整備スケジュールの繰延べなどの影響が出ている。

また、大規模公園の管理には、多額の費用を要するため、今後も効率的な執行が必要である。

10 今後の方向性(一次評価)

今後の方向
<input type="checkbox"/> 拡充する
<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持する
<input type="checkbox"/> 見直し



説明及び具体的内容

公園については、総合計画に掲げられた公園について、財政状況に照らし、整備内容及びスケジュールを精査しながら、完成に向け着実に推進していく。

霊園については、高まる墓地需要に応えるため、峰山霊園用地を効率的に使用することにより、適正な受益者負担のもと、墓所等の供給数を増加させる。

11 2次評価

説明
<input type="checkbox"/> A
<input checked="" type="checkbox"/> B
<input type="checkbox"/> C

12 外部意見

説明

市民満足度調査結果では満足度が高いため、現状の水準を維持できるよう事業を展開するとともに受益者負担について検討を行う必要がある。

